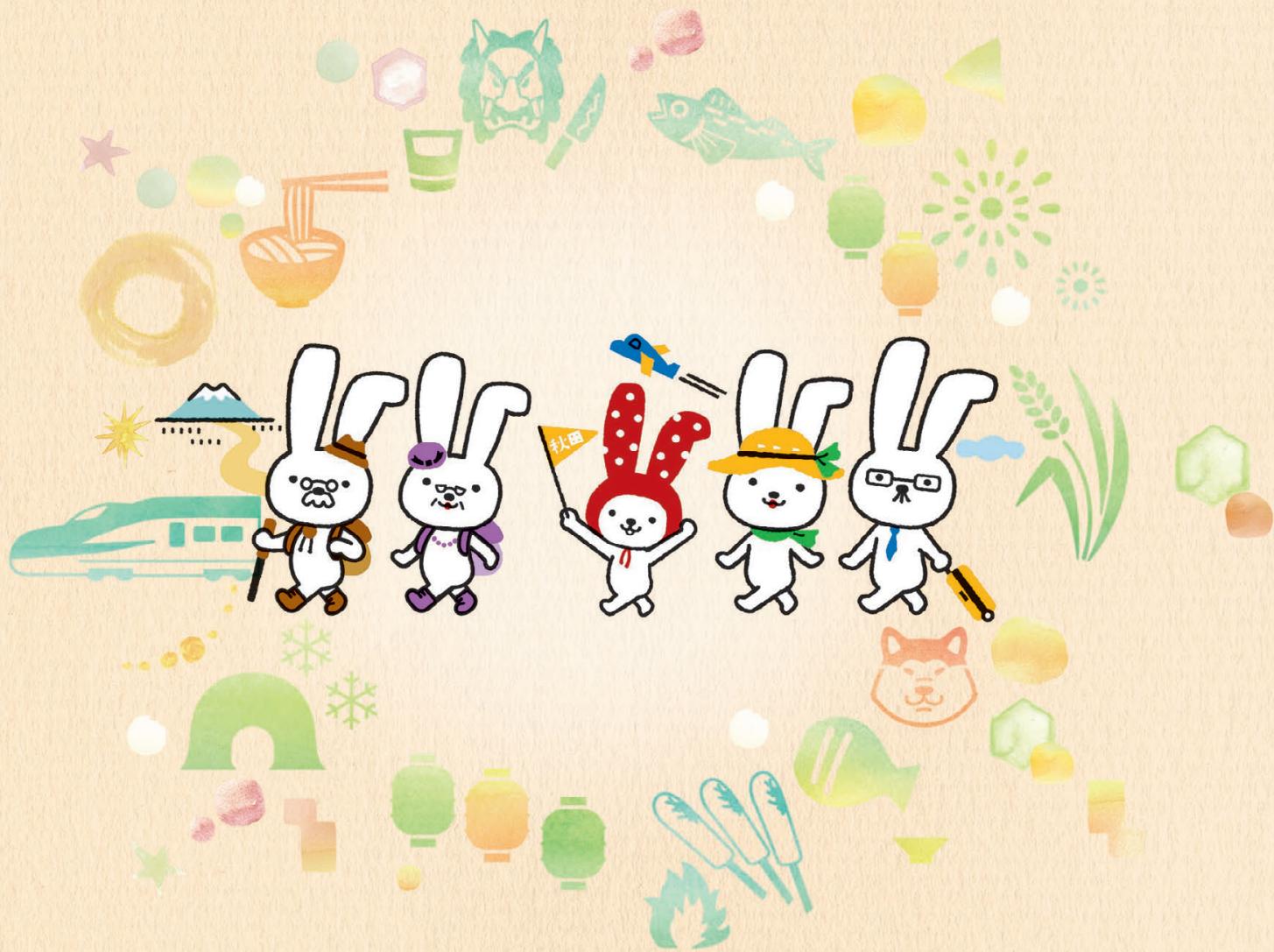


# AKITA BANK

中間期 ディスクロージャー誌（情報編）

# REPORT 2018



〈特集①〉 観光産業への取組み

〈特集②〉 創業支援の取組み

◎トップメッセージ

◎あきぎんトピックス「あきぎんの2018年度」

◎業績ハイライト



目次

地域経済の質を高め、  
地域とともに成長する銀行を  
目指してまいります

取締役頭取

新谷 明弘

Akihiro Araya



- 01 ○トップメッセージ
  - 03 ○特集① 観光産業への取組み
  - 07 ○特集② 創業支援の取組み
  - 09 ○あきぎんトピックス
  - 11 ○業績ハイライト
- 収益性・健全性／資産の健全化  
預金・預り資産の状況／貸出金の状況

皆さまには、平素より秋田銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行に対するご理解を一層深めていただくため、「AKITA BANK REPORT」を作成いたしました。本誌では、当行の地域やお客様などに対する取り組み、最近の業績などについてご紹介しております。ご高覧のうえ、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

当行では、平成28年度からスタートした中期経営計画「[あきぎん](#)みらいプロジェクト」を通して、人口減少が進む中につつても地域経済が維持・発展していくために、「地域経済の質を高める」ことを目指し地域を支える企業や産業の成長をサポートするなど、地域経済の活性化に取り組んでまいりました。

当行が主たる営業基盤とする秋田県では、生産年齢人口の減少とともに雇用の確保が大

きな経営課題になるとともに、経営者の高齢化と後継者不足も深刻化しています。

こうした地域が抱える課題へ対応していくため、本部内に事

業承継やM&Aに対応する専門部署を設置いたしました。事業承継やM&Aに対する支援件数は30年上半期で250件を超えて、昨年度の件数を大きく上回っております。

雇用の確保については、新たに「パーソルホールディングス株式会社」と業務提携を行い、地域の人材確保をはかり、雇用問題の解決に取り組んでおります。

また、当行ではお客様の様々な経営課題に対応するため、平成27年に設立した株式会社[あきぎんリサーチ＆コンサルティング](#)と7人の専門アドバイザーによる専門的な相談・支援を行っております。工場の生産管理の改善、ビジネスマッチング、首都圏での販路拡大支援、

各種補助金制度の対応など、多様な専門分野について対応することにより、企業の事業規模拡大や競争力強化をはかつてまいります。

創業支援の分野では、創業

プラットホーム「[あきぎん](#)STARTUP Lab(スタートアップラボ)」を立ち上げ、起業家同士のネットワーク形成から

起業後の事業成長まで一貫して支援しております。新規性を有するビジネスプランの事業化を

お手伝いするほか、地域における起業マインドの醸成を目的としたワーキングショップを開催するなど、地域経済の新たな担い手づくりに取り組んでおります。

引き続き中期経営計画に基づいた諸施策を着実に進め、地域経済の発展と地域社会の活性化に努めてまいります。皆さまには引き続き一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

## Profile <[あきぎん](#)>の概要 (平成30年9月30日現在)

名 称	株式会社 秋田銀行 The Akita Bank, Ltd.	発行済株式数	18,093千株
本 店 所 在 地	秋田県秋田市山王三丁目2番1号	自己資本比率	10.85%(国内基準)
創 業	明治12年(1879年)1月	長 期 格 付	A+(JCR)
預金・譲渡性預金	2兆 7,024億円	従 業 員 数	1,435名
貸 出 金	1兆 6,907億円	店舗 数	本文店・出張所98か所 (秋田県内80、秋田県外17、インターネット1)
資 本 金	141億円		

特集  
01

# 観光産業への取組み

～地域資源を活かした観光コンテンツ整備支援～

## ひかけ 日景温泉 [大館市]

### 廃業した老舗旅館の再興

「日景温泉」は、平成26年8月に一旦閉館したものの、全国の温泉ファンからの閉館を惜しむ声を受け、(株)割烹きらぐが施設を引き継ぎました。地域の产品等の魅力をショーウィンドウ的に発信する機能を備えた温泉施設へと再生しています。

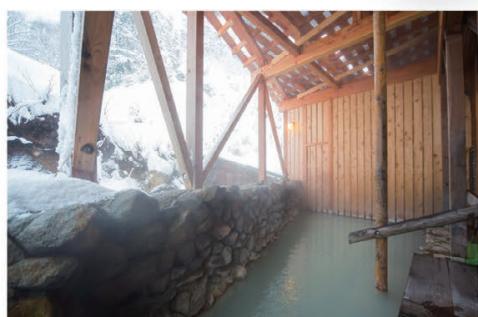
今までに  
支援した  
施設(一例)

## ごしょうがけ 後生掛温泉 [鹿角市]

### オンドル湯治文化の伝承

世界でもほとんど類を見ない価値を有する天然オンドル、八幡平の自然や地熱を楽しむアクティビティなど、特長あるコンテンツを活用しながら、プライベート空間を確保した天然オンドル湯治棟を整備しています。

\* 天然オンドル：天然の温泉地熱を床下に循環させて湯治に利用するしきみ



## さいや　しゅぞう 齋彌酒造 [由利本荘市]

### あきた発酵ツーリズムの発信拠点の整備

酒蔵に隣接する古民家や土蔵を活用し、「あきた発酵ツーリズム」における発信拠点として、ショップ、カフェ、製造工房を併設した施設へのリノベーションを予定しています。



AKITA



## くろゆ 黒湯温泉 [仙北市]

### 乳頭温泉郷インバウンド 特化型拠点の整備

乳頭温泉郷の最奥に位置する「黒湯温泉」は、湯治場として栄えた施設の趣と大自然に囲まれた景観とを融合し、顧客の嗜好に適う客室棟へとリノベーションを施しました。県内におけるインバウンドの入り口の構築を目指しています。



## 地域資源を活かした 観光コンテンツ 整備支援

- 地域経済循環創造事業  
**交付金について**
- 産学官および金融機関の連携により、地域資源を活かした先進的で持続可能な事業に対し、初期投資費用の一部を自治体（総務省）が支援する制度
- 地域経済の循環効果のほか、高い新規性・モデル性が求められる

当行では、観光コンテンツの魅力向上による交流人口拡大を目的に、新しいコンセプトの観光施設整備事業に対し、事業計画の作成、「地域経済循環創造事業交付金」の申請および事業性評価による融資を通じた支援を実施しております。

平成29年度の当該交付金を用いた支援件数は4件となつたほか、平成30年度上半期も2件の採択を支援しております。

### ■ 地域経済循環創造事業交付金を活用した新規事業支援

#### 産学官金連携

**地域経済循環  
創造事業交付金**  
(総務省・自治体による  
新規投資支援)

**事業性評価融資**  
(金融機関による事業の目利き、  
事業継続のリスクマネジメント)

#### 事業者

##### 新規事業

高い新規性とモデル性があり、地域課題の解決に資する事業

- ・金融機関：事業キャッシュフローの継続的モニタリング
- ・大学等：ノウハウの提供

#### 経済循環創造効果

- ・地元雇用の創出
- ・地元原材料の仕入増
- ・交流人口の増加

#### 地域課題の解決

### 当行担当者インタビュー

Q 観光産業への取組みを教えてください。

観光産業の振興は地域の雇用や周辺産業への波及効果が大きく、地域経済を活性化するうえで有意義と言えます。そのなかで当行では、魅力ある観光コンテンツづくり、県外・海外からの誘客促進、観光客の受け入れ態勢の整備に向け、コンサルティングツールの活用やアライアンス先との協働によるソリューションを、観光関連事業者に対して、提供しています。

Q 「地域経済循環創造事業交付金」について教えてください。  
本交付金は、地域資源を活用し、地域雇用創出や経済循環といった波及効果が期待される事業を手がけようとする事業者に対して、資金面から支援するしくみです。  
当行では、地域の温泉、名産品、伝統工芸品などを有効活用した魅力的な観光コンテンツづくりを支援するため、事業計画の策定および交付金採択に向けた支援を積極的に行ってています。

Q 今後の意気込みについて教えてください。  
昨年度から今年度上半期にかけて、計6件の採択および事業計画の実現を支援してまいりました。今後は、観光地域づくり推進組織の「DMO」と民間事業者・自治体の連携を促すとともに、マーケティングおよびリソースのブランディングによる事業構想の企画・立案、事業性評価にもとづくファイナンスを一貫して支援してまいります。



秋田銀行  
地域未来戦略部 主査  
大沢直希

制作体験コーナーでは、曲げわっぱの弁当箱を作ることができます。



8月に曲げわっぱを核とした複合施設「わっぱビルディング」をオープンしました。曲げわっぱのショップやギャラリー、制

同社の曲げわっぱ商品が並ぶショップ。壁際には慶信氏の曲げ物コレクションが展示されています。



## interview 01

# 「交流・仕事・賑わいの創出」の拠点をつくる

伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」を核とした複合型賑わい・交流拠点リノベーション事業

作体験コーナーのほか、カフェやシェアオフィスを併設しており、周辺の賑わいや仕事の創出が期待されています。

きっかけは、社長の柴田昌正氏が、父親で創業者の慶信氏による曲げ物のコレクションの展示施設をつくるようと

思ったこと。さらにその施設を、制作体験などを通して曲げわっぱの伝統文化や自社のコンセプトを伝える場にしたいと考えました。そんな時、当時空きビルだった現在の建物と出会います。絶好の立地だったものの、2階建てのビルは自社だけでは規模が大きすぎたため、悩んだ柴田氏は専門家に相談。その結果、同じ建物で商売をやりたいという仲間を得て、「伝統工芸+食+交流」の場が誕生したのです。

あたり事業計画案の検証などを実施。「大館曲げわっぱ」に関する情報発信が人の交流や仕事の創出につながること、「伝統工芸+食+交流」というテーマの新規性などが評価され、交付金の採択に至りました。

「オープン後、市民だけでなく県外からの来店客や観察も多く、曲げわっぱが観光につながるのではないかと期待しているところです」と話す柴田氏の夢は、事業を通じて業界や地元を元気にすること。そのためにも、「今後も秋田銀行さんは、自分のように夢を持つ人に対して支援をお願いしたい」と

## 業界や地元を元気にしたい

駅前の空きビルのリノベーションを実施。今年8月に曲げわっぱを核とした複合施設「わっぱビルディング」をオープンしました。曲げわっぱの

同ビルの見どころの一つが、白壁と白木を基調にした空間。曲げわっぱを核にした施設であるものの、あえて伝統的な趣にせず、都会的な雰囲気を演出しています。当行では、交付金の申請に

同ビルの向かいには、来年5月、観光交流施設「秋田犬の里」が開業予定。観光スポットとしての期待も高まります。



(有)柴田慶信商店  
代表取締役  
柴田昌正氏

### Profile

大学卒業後、会社勤務を経て1998年に同社に入社。2007年、新シリーズ「マゲワ」を開発。2009年に日本橋三越店に常設店を、2010年に浅草店をオープン。2010年代表取締役に就任。伝統工芸士。

## 火災から9ヶ月後に 再建を決意

「平成28年7月に宿泊棟である奥山旅館を火災で焼失した直後は、廃業も考えました。でも、お客様から『ぜひ旅館を再建してほしい』という声をいただき、また、先祖が築き上げてきたものを自分の代で無くしてはいけないと想い、翌年4月、再建を決めたんです」と、(株)泥湯温泉の専務取締役・奥山晃弘氏は振り返ります。

再建にあたって、当行湯沢支店の担

宿泊棟建設にともない、現在は日帰り入浴の「男女別露天風呂」のみ営業しています。

## interview 02

### 歴史ある泥湯温泉を 守り継ぐとともに ジオパーク構想の実現を目指す



(株)泥湯温泉  
専務取締役  
奥山晃弘氏

新たな宿泊交流拠点構築事業  
ゆざわジオパークの核となる

当者とたびたび  
話し合いをして  
いましたが、地域  
経済循環創造事  
業交付金制度を  
知った後、同制度

の活用について  
相談。秘湯とし

ての高いブランド力に加え、再建によ  
り周辺一帯の「ゆざわジオパーク」の宿  
泊交流拠点としての役割が期待される  
ことから、地域経済への貢献度が高く  
評価され、今年6月の交付金採択につ  
ながりました。同社では、交付金のほか  
に当行からの事業性評価による融資も  
あわせて受け、来年4月の宿泊営業再  
開に向けて工事を進めています。

一方、ジオツーリズムの推進を目指  
し、ロビーの一画に、ジオパーク関連の  
鉱石や化石、パンフレットなどの展示  
コーナー「ジオパークミニミュージア  
ム」を設置する点も、新館の特徴です。  
再建のニュースが報じられてから、同  
社には、宿泊希望客や大手旅行代理店  
などからの問い合わせが毎日のように  
寄せられています。そうした声からも  
泥湯温泉への思いや期待を感じるとい  
う奥山氏は、「応援し、お世話してください  
さつたすべての方々に、「旅館が再建さ  
れて良かった」と思われるよう精進し  
たい」と決意を新たにしていました。

### ジオパーク関連コーナーも設置

新しい宿泊棟は、「周囲の豊かな自然  
との融合」「郷愁感」をコンセプトにし  
ており、古材や薪を使った古民家風の  
木造二階建ての建物。9室の客室には、  
寝起きしやすい「和ベッド」を配してい



建設中の新しい宿泊棟。茅葺き屋根のある  
古民家風の上品な造り。

ます。調度品などにも配慮し、上質感を  
打ち出しました。宿泊料金の設定をは  
じめとして収支計画をたてる際にはか  
なり悩んだそうですが、「秋田銀行さん  
にアドバイスしていただき、助かりまし  
た」と奥山氏は話します。

栗駒国定公園内にあり、豊かな自然に囲まれた泥湯温泉。



### Profile

大学卒業後に福島県の温泉宿で2年間研修したあと、1996年に同社に入社。2013年頃から父親で代表取締役の清光氏とともに経営に携わる。2016年4月、敷地内に「蕎麦Cafeゆの花」を開店。

## 創業支援の取組み

当行では、事業者数の増加および新産業の創出による「地域経済基盤の維持・拡大」を目指し、創業支援の取組みを強化しています。「**あきぎん** STARTUP Lab」および本部・営業店「テスク」のほか、外部支援機関とも連携し、起業マインドの醸成から事業化・事業拡大まで一貫して支援する体制を築いています。

事業創造ワークショップ

事業創造および起業マインドの醸成を目的に秋田県大館市にてワークショップを開催しています。

## ワークショップレポート (実際に出された意見)

## ①地域課題の共有

- 秋田犬、曲げわっぱ、比内地鶏、きりたんぽなどの優れたコンテンツがあるにも関わらず、発信・販売に繋げられない。

地域開発の情報が分散し、当事者だけの取組みになつてゐる。

## ②課題解決のための事業アイデア

- 域内コンテンツを取り扱うリアル店舗の運営
  - 域内コンテンツの情報を集約してPR・発信・販売できる機能を持つWEBサイトの構築

### ③事業アイデアの実現に向けた

- 地域商社（地域プランディング）機能の実現  
一大館の観光推進組織との連携による  
観光マネジメント会社設立の検討

（目標）



## 【ワークショップの模様】

# 事例紹介 (株)OHANA

代表取締役社長 佐藤宏満氏

【*あきぎん*ビジネスプランコンテストでの発表】

【10月より開業したデイサービス施設】



【1人ひとりにあわせたプログラムを提供】

○事業概要  
平成30年10月に、秋田県初となる自閉症特化型生活介護事業（デイサービス）を開業。一人ひとりの症状・性格に合わせた個別プログラムを作成し、利用者のニーズに沿ったサービスを提供しています。

- 事業プラン「秋田県初『発達障害者特化型施設』の開設『あきぎん』ビジネスプランコンテスト2017」最優秀賞を受賞



までの道筋(手順、手続等)を具体的に教えていただいたり、人の紹介もしてくれるなど手厚くフォローいただきました。

## 今後の目標

現在の事業をきちんと軌道に乗せたうえで、今後は居住施設や、軽度の自閉症者向けのサービスを展開し、地域のニーズに応えていきたいと思います。経営者としては分からぬことだらけであるため、秋田銀行さんには引き続き指導やアドバイスを期待しています。

## 起業まで

商工会の起業関連のイベントに参加し、事業構想を発表する機会がありました。そのときに秋田銀行の行員の方から誘いを受け、あきぎんリサーチ＆コンサルティングと専門アドバイザーも交えて事業計画の策定をお手伝いいただきました。自分では気づかない視点からアドバイスをいただけ、大変貴重な機会であったと思います。また、「STARTUP Lab」のイベントにも参加し、異なる業種で起業を目指す方々と交流し、いい刺激になりました。

## ビジネスプランコンテスト

自分で納得のいく事業計画ができるため、自分を奮い立たせるねらいで、ビジネスプランコンテストへの参加を決めました。人前での自分のプランを発表し、最優秀賞をいたしました。「必ず(プランを)実現する」と決意を固めることができたと思います。

コンテスト後も、秋田銀行さんは事業化

## 秋田銀行の関与

### 事業計画策定支援

専門アドバイザー、当行関連会社（株）あきぎんリサーチ＆コンサルティング）を活用した事業計画策定支援

### ワークショップ・ビジネスプランコンテスト

起業マインドの醸成  
事業プランのブラッシュアップ

### 事業化

事業化に向けた支援  
事業計画の見直し、会社設立にかかる助言、ファイナンス支援

# 2018 AKITA BANK TOPICS



宮の沢支店



東日本の自治体で初となる市税等の「納付書読取型クレジット収納サービス」を、仙北市と連携して導入しました。本サービスでは、仙北市が発行した市税等納付書のコンビニ収納用バーコードをお客さまがスマートフォンで読み取りし、クレジットカード情報を登録して納付することができます。

## 5月 「市税等納付書読取型クレジット収納」取扱開始 仙北市における

5月

「市税等納付書読取型クレジット収納」取扱開始



スマートフォン専用アプリ「あきぎんアプリ」の取扱いを開始しました。本アプリにより、窓口へ来店することなく、お客様のスマートフォンを通じて、いつでも、どこでも、簡単な操作で預金口座等の残高や入出金明細をご覧になることができます。

北海道札幌市内で2か店目となる「宮の沢支店」を開設しました。新店舗は、お客様に便利にご利用いただけるよう、地下鉄東西線宮の沢駅1番出口に直結する新道北口ビル1階に開設しております。法人・個人のお客さまの幅広いニーズにお応えしきめ細やかなサービスの提供に努めてまいります。

## 4月 「宮の沢支店」のオープン

4月

「宮の沢支店」のオープン

WEBサイト多言語化サービス「Wovn.io」を手掛けるWovn technologies株式会社との業務提携しました。本提携により、インバウンド対応や海外販路開拓等において海外への情報発信をご検討している皆さまを支援しております。

**6月 Wovn technologies株式会社との業務提携**

「刈和野支店」を大仙市西仙北庁舎1階に移転し営業を開始しました。移転により、広い駐車スペースを確保したほか、銀行窓口へお立ち寄りの際に大仙市の行政サービスもあわせてご利用いただけます。また、個別相談ブースを設置し、資産運用やローンなどのライフプランの設計をより快適にご相談いただけます。

## 7月 「刈和野支店」の移転

7月

「刈和野支店」の移転

また、講演後には経営者の皆さまの事業承継・M&Aにかかる個別相談会を開催しました。

「事業承継税制」や「M&Aによる成長戦略」をテーマとした「あきぎん」事業承継・M&Aセミナーを開催しました。本セミナーでは、事業承継・M&Aにおける専門家より、企業の存続および成長のために有効な事業承継に関する税制やM&Aの活用方法について解説いただきました。

## 8月 「あきぎん」事業承継・M&Aセミナーの開催



刈和野支店



全国の地方銀行で初となる法人向けスマートフォンアプリ「[あきぎん](#) Bizcom」の取扱いを開始しました。本アプリを通して「あきぎん」ビジネス-Bにアクセスすることで、簡単な操作でどこからでも残高や入出金明細をご覧になれるほか、資金移動の承認依頼や入金の通知、当行からの各種お知らせを受け取ることができます。

## 「あきぎん」Bizcomアプリの取扱開始



「あきぎん」事業承継・M&Aセミナー



特別講演会

秋田県電子工業振興協議会と共同で、「特別講演会」を開催しました。トヨタ自動車株式会社技監佐々木眞一氏（秋田市出身）を講師に招き、トヨタ自動車で取り組んでいる「自工程完結」の考え方を活かしたプロセス改善、製造業がなすべき「品質の維持・管理」についてご講演いただきました。



## 秋田県電子工業振興協議会との共催による 「特別講演会」の実施

秋田県中小企業団体中央会と「県内食品事業者の首都圏等への販路開拓支援に関する協定」を締結しました。販路開拓に関する協定」を締結しました。販路開拓に関する情報交換等を通じて、それぞれが保有するネットワークおよび経営資源を有効に活用し、県内食品事業者の首都圏等への販路拡大を支援してまいります。



## 県内食品事業者の首都圏等への販路開拓支援に関する協定締結式

株式会社秋田銀行 秋田県中小企業団体中央会



県内食品事業者の首都圏等への販路開拓支援に関する協定

## 「県内食品事業者の 首都圏等への販路開拓 支援に関する協定」の締結

## 収益性・健全性

### コア業務純益(※)…30億円

コア業務純益は、資金利益の減少により、前年同期比3億円減少し、**30億円**となりました。

#### 【コア業務純益】

**用語解説**  
銀行本来の業務(預金、貸出、為替、有価証券など)から得られた利益である「業務純益」から、期ごとに特殊な要因で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券関係損益」を除いたもので、「銀行の基本的な利益」を示します。

### 経常利益…30億円 中間純利益…22億円

経常利益は、与信関係費用は低水準でしたが、コア業務純益の減少により、前年同期比2億円減少の**30億円**となり、中間純利益は5億円減少の**22億円**となりました。

### 自己資本比率(※)(単体)…10.85%

自己資本比率は、貸出金の増加を主因にリスク・アセットは増加しましたが、利益の積上げにより自己資本も増加したことから、前期末比0.10ポイント上昇し**10.85%**となりました。

従来に引き続き国内基準に求められる4%を大きく上回っております。

#### 【自己資本比率】

貸出金などの資産(リスク・アセット)に対する自己資本の割合で、銀行の健全性を示す指標のひとつです。海外に営業拠点を有する銀行は国際統一基準で8%以上、海外に営業拠点を持たない銀行(当行)は国内基準で4%以上を維持することが求められています。

### 格付け(※)…A+

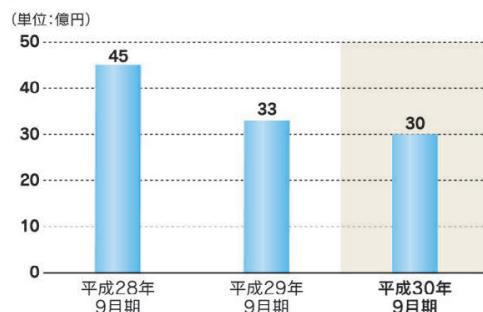
当行は、日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付について格付けランクの上位に位置する「A+」を取得しております。

「A」は、「債務履行の確実性は高い」と定義されており、当行の財務内容の健全性が評価されていることを示しております。

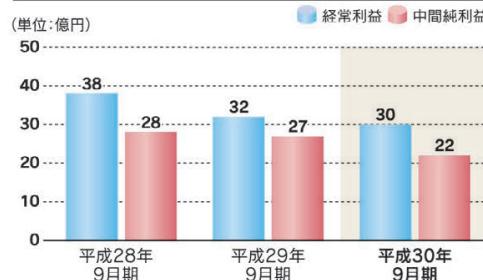
#### 【格付け】

格付けとは企業が発行する債券が「約束通りに元本および利息が支払われる確実性の程度」を利害関係のない第三者(格付け会社)が判断し、その結果を簡潔な記号にしたもののです。なお、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。

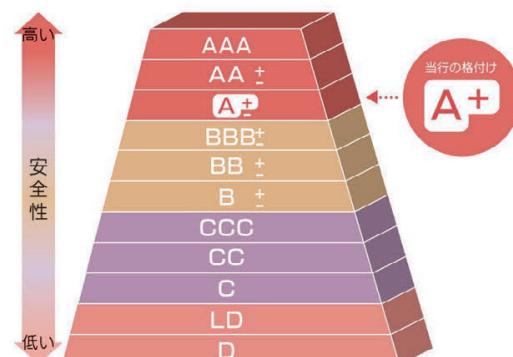
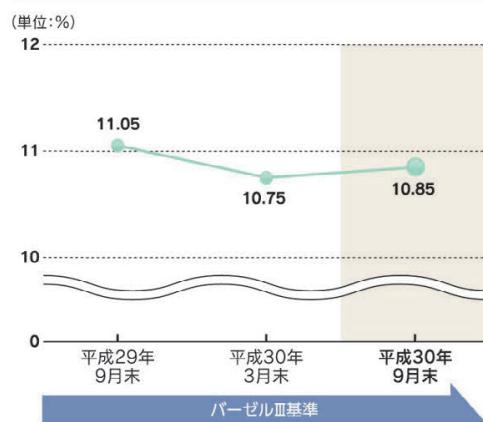
#### ■ コア業務純益の推移



#### ■ 経常利益と中間純利益の推移



#### ■ 単体自己資本比率の推移



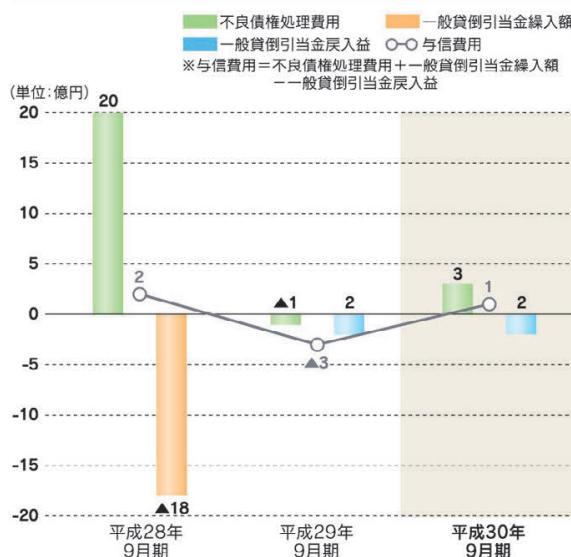
## 不良債権の状況

平成30年9月期の与信費用は1億円と、前年同期に引き続き低水準でありました。

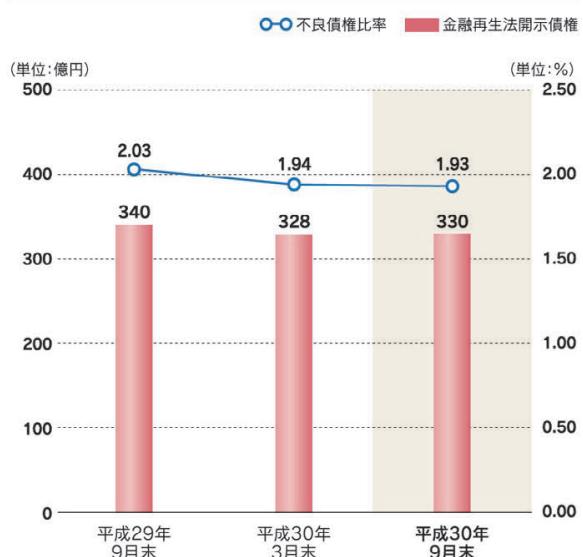
平成30年9月末の不良債権額(金融再生法開示債権ベース)は330億円であります。対象債権額合計に占める不良債権比率は1.93%となり、平成30年3月末に比べて0.01ポイント低下いたしました。

また、この不良債権が将来回収不能となった場合の備えである保全額(貸倒引当金、担保、保証)は291億円、保全率は88.16%と高く、貸出等資産の健全性維持に努めております。

## ■ 債却・引当の状況



## ■ 金融再生法開示債権推移



## ■ 金融再生法開示債権の状況

平成30年9月末現在



## ※1【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

用語解説

## ※2【危険債権】

お取引先の財政状態および経営成績が悪化し、契約にしたがつた債権の元本回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

## ※3【要管理債権】

3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権(金利の減免や利息の支払い、元本の返済を猶予した貸出金など)です。

# 預金・預り資産の状況

AKITA BANK REPORT 2018

## 預金の状況

個人預金および法人預金が増加したことから、前年同期末比470億円増加し、2兆7,024億円となりました。

平成30年9月末の預金・譲渡性預金残高に占める秋田県内残高の割合は90.0%となっております。

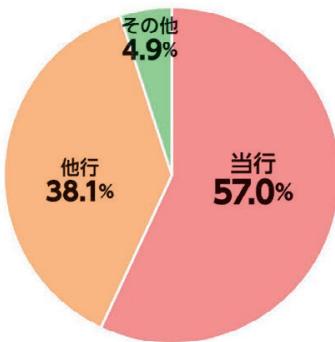
また、秋田県内における当行取引シェアは、57.0%と高い水準を維持しております。

## 預金残高



## 秋田県内シェア(金融機関別)

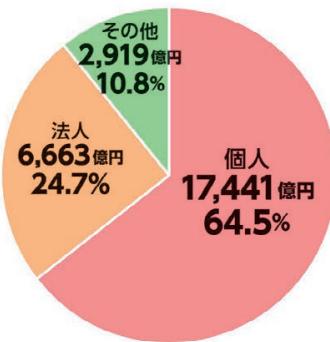
平成30年6月末



- 他行／都銀・地銀・第二地銀
- その他／信用金庫・信用組合
- 譲渡性預金は含まれておりません。 [資料:預金・貸出金一覧((株)日本金融通信社)ほか]

## 預金者別

平成30年9月末



## 県内外別

平成30年9月末



県内預金内訳

うち個人	うち法人	その他
16,142億円 (66.3%)	5,465億円 (22.5%)	2,725億円 (11.2%)

## 預り資産(※)残高の推移

### 預り資産残高の推移



預り資産は、前年同期末比120億円増加し、2,333億円となりました。

### 【預り資産】

公共債、投資信託、生命保険など金融商品を総称して「預り資産」と呼んでおります。また、個人年金保険、一時払終身保険を総称して「生命保険」と呼んでおります。

用語解説

## 貸出金の状況

事業先向け貸出金および個人ローンが増加したことにより、前年同期末比257億円増加し、1兆6,907億円となりました。

平成30年9月末における貸出金残高に占める中小企業等向け貸出金の割合は54.8%となっております。

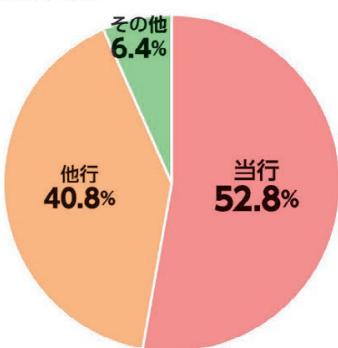
また、秋田県内における当行取引シェアは、52.8%と高い水準を維持しております。

### 貸出金残高



### 秋田県内シェア(金融機関別)

平成30年6月末



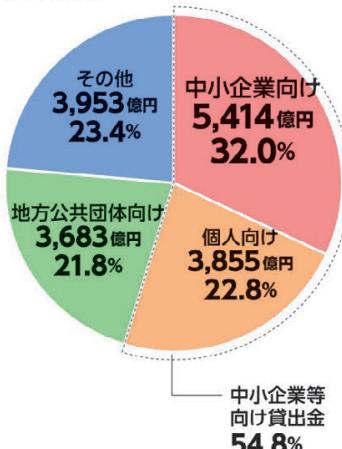
●他行／都銀・地銀・第二地銀

●その他／信用金庫・信用組合

[資料：預金・貸出金一覧((株)日本金融通信社)ほか]

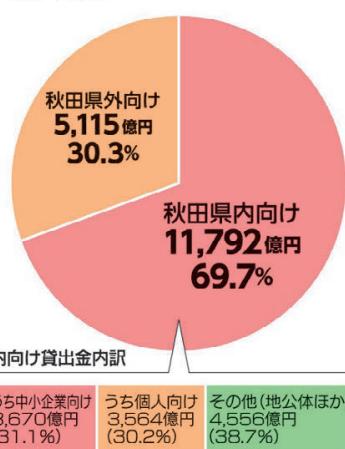
### 貸出先別

平成30年9月末



### 県内外別

平成30年9月末



## 個人ローンの状況

### 個人ローンの推移

(単位: 億円)

個人ローン

うち住宅ローン



個人ローンは、住宅ローンが109億円増加したことを主因として、前年同期末比138億円増加し、3,690億円となりました。



## AKITA BANK REPORT 2018



平成30年12月発行／秋田銀行経営企画部広報CSR 室

〒010-8655 秋田市山王三丁目2番1号 TEL. 018-863-1212 [e-mail] koho@akita-bank.co.jp [URL] <https://www.akita-bank.co.jp/>